

北海道大学附属図書館所蔵

北方古地図展 (第一期)



場所：北海道大学附属図書館玄関ロビー

期間：2013年8月1日～2013年11月30日

表紙：元禄国絵図「松前島図」

附属図書館では資料の展示公開の一環として、北方資料室所蔵の北方古地図展を開催いたします。

北方資料室所蔵の地図コレクションには、樺太、千島とともに蝦夷地（北海道）の古地図が系統的に収集され、明治期に開拓史や北海道庁が作製・刊行した石版や銅板の各種地図もまとまった形で収蔵されています。

本展では江戸初期から明治初年までに作製された北方古地図を展示し、地図の変遷をたどることにより北海道の歴史を概観します。古地図を通して、北海道の歴史に思いをめぐらせていただければ幸いです。

展示の概要

慶長～天明期（1596～1788年）においては、松前藩が幕命により作製・提出した国絵図のほか、他の藩や民間による図が作製され、多様な形の蝦夷地が描かれました。

寛政～文政期（1789～1829）には幕府による蝦夷地の实地調査が行われ、現在見慣れた北海道の姿を思わせる図が次々に作製されました。伊能忠敬による東蝦夷地の实地測量や、間宮林蔵によるカラフト島の踏査もこの時代の出来事です。

天保～明治期（1830～1875）には松浦武四郎による詳細な調査が行われ、多くの蝦夷図が作製されました。また、明治維新を迎えると蝦夷地は北海道と改称され、開拓使や民間から次々と北海道図が刊行されることとなりました。

《伊能忠敬資料》



伊能忠敬肖像
「千葉県香取市 伊能忠敬記念館所蔵」

1. 日本経緯度実測

伊能は、江戸深川から野辺地に至る路線の測量により、緯度1度に相当する子午線弧長がおよそ28里2分（110.7km程度）に相当すると推測し、各地の経緯度を記した
（旧記0396(3)）

2. 伊能忠敬測量日記 1

詳細な測量の様子が記された日記を活字化した図書

（北方閲覧室 526.9/Ino）

3. 伊能・間宮・松浦測量図

《松浦武四郎資料》

1. 東西蝦夷山川地理取調図

安政6年（1859）、6度に渡る実地調査をもとに作成され、内陸部の河川や地名も記載されている経緯度1度分を1枚とする全26枚の地図を並べると、エトロフ島までを含む蝦夷図と成る（軸物135）



上：東西蝦夷山川
取調図

右：松浦武四郎肖像



2. 石狩日誌（丁巳）万延元年序 （多気志楼2）

3. 國名之儀二付申上候書付、 郡名之儀二付申上候書付、 道名之儀二付申上候書付

1. 元禄国絵図「松前島図」
(元禄13年/1700年) 軸物210
2. 松前蝦夷地絵図
(正徳～寛永年間/1711～1751年) 図類647
3. 蝦夷図
(正徳～寛永年間/1711～1751年/) 図類622
4. 蝦夷国全図
(天明5年/1785年) 軸物48
5. 松前地図
(寛政3年/1791年) 図類645
6. 松前蝦夷地嶋図
(文化5年/1808年) 図類651
7. 伊能氏実測北海道之図
(文政4年/1821年) 図類38
8. 蝦夷地全図
(文政年間/1818～1830年) 図類620
9. 東西蝦夷山川地理取調図
(安政6年/1859年) 図類263
10. 北海道実測図
(明治8年/1875年) 図類702, 703, 軸物14



北方関係資料総合目録

(<http://www2.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/>)では、附属図書館所蔵の北方関係資料類をインターネット上で検索することができます。画像・全文が見られるものもあります。



松前蝦夷地絵図

北海道大学附属図書館所蔵 北方古地図展 (第一期)

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL : 011-706-2994 FAX : 011-746-4595
MAIL : hoppo@lib.hokudai.ac.jp